

乾式クラッチカバーセット TYPE-R (油圧式) 取扱説明書

製品番号 02-02-0077

適応車種及び フレーム番号	Monkey/Gorilla(6V) (Z50J-1300017 ~ 1805927)
	Monkey(12V) (Z50J-2000001 ~) (AB27-1000001 ~ 1899999)
	Monkey(FI) (AB27-1900001 ~)
	Gorilla(12V) (Z50J-2500001 ~) (AB27-1000001 ~ 1899999)
適応条件	乾式クラッチカバーキット TYPE-R 取り付け車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには、予め乾式クラッチカバーキット TYPE-R が装着されている必要があります。当製品のみでの取り付けは出来ませんのでご注意ください。
- ◎この説明書やサービスマニュアルは、基本的な技能や知識を持っている人を対象としていますので、技能や知識を持っていない人が作業を行なった場合、正しく組み付け出来ない場合があり、部品を破損させる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎フリクションディスク等に水分が付着すると腐食し、クラッチの機能を果たさなくなります。雨天走行、洗車等の後には、フリクションディスク、クラッチプレート等に付着した水分を必ず拭き取り、十分に乾燥させて下さい。また、梅雨等の湿気の多い時期の保管は、フリクションディスク、クラッチプレート等の貼り付きを防ぐためクラッチを切って保管して下さい。

～特徴～

- ・クラッチリリース方式を油圧にする事により、クラッチ操作のレスポンスが良くなり、操作性が向上します。
- ・クラッチカバーはアルミ材を削り出し、アルマイト処理を施しています。又、ベンチレーションホールを設ける事により冷却効果を高めています。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

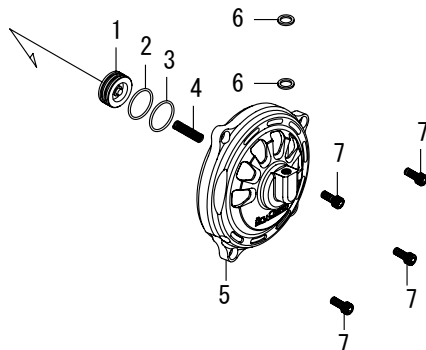
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
- クラッチアウトター等の回転部分をクラッチカバーに設けた冷却ホールより触れる事が出来ませんが、エンジン回転中は絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。又、車両に乗られる場合は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。（転倒等の事故、ケガ、火傷の原因となります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	リリースピストン COMP.	1	11340-KL1-T01
2	0リング 26mm (SBR/艶無し)	1	00-00-2783
3	0リング 26mm (NBR/艶有り)	1	00-00-0057 (4ヶ入り)
4	リリーススプリング	1	11334-GFL-T00
5	クラッチカバー	1	11341-GFL-T30
6	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0010 (10ヶ入り)
7	ソケットキャップスクリュー 6x15	4	00-00-0042 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

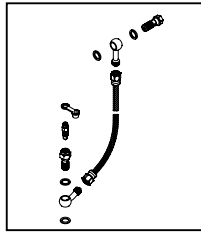
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

02-02-2103



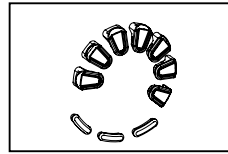
クラッチマスターシリンダー ASSY.
ピストン径：1/2 インチ (12.7mm)
ミラー取り付け径：M8
操作性の良い形状のレバーを採用した
L. マスターシリンダーです。

00-02-0375



オイルホースセット
ケーブル式から油圧式に
変更する際に使用します。

02-02-0079

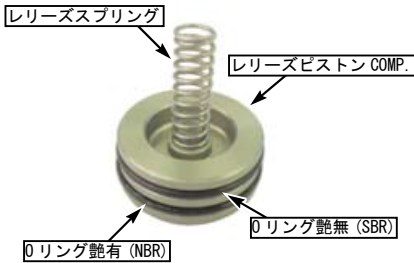


キャップセット
(油圧式カバー用)
雨天走行や洗車時にクラッチ
カバーの開口部に取り付ける
事で水の浸入を軽減します。
又、乾式クラッチ特有の騒音
を和らげる効果があります。

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

(クラッチカバーの取り付け)

1. レリーズピストン COMP. に O リング 26mm を組み付け、レリーズスプリングを組み付けます。
※ O リングにはラバーグリスを薄く塗布し馴染ませてから組み付けて下さい。
※ O リングにはそれぞれ取り付け位置があります。写真を参考に O リングに艶が無い方はブレーキフルード側に、艶がある方はクラッチ側に取り付けして下さい。



2. 組み付けたレリーズピストンをクラッチカバーに組み付けます。
※クラッチカバーのシリンダー側にもラバーグリスを薄く塗布し組み付けを行って下さい。
※ピストンをシリンダーに組み付ける際に無理やり組み付けると O リングが損傷する為、確実に組み付けて下さい。



3. クラッチカバーを R. クランクケースカバーに、しっかりと締め込みソケットキャップスクリュー 6x15 で取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



4. 別売りの L. マスターシリンダーを付属の取説を参照し、ハンドルに取り付けます。



5. クラッチカバーにシーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順に置きバンジョーボルトを手で仮締めし、クラッチホースを L. マスターシリンダーまで取り回し、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順にバンジョーボルトで取り付けます。位置が決まれば、バンジョーボルトとホースフィッティングを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：15N・m (1.5kgf・m)
ホースフィッティング
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

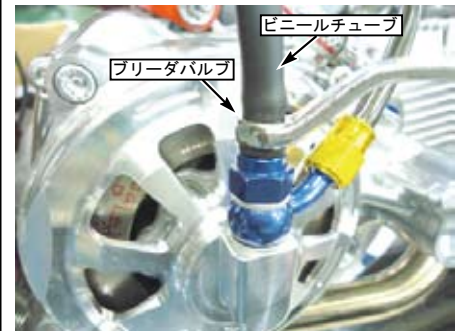


(ブレーキフルードの注入)

1. L. マスターシリンダーのリザーバキャップを取り外し、ブリーダースクリュー、バンジョーボルトが締め付けられていることを確認し、リザーバの上限線までブレーキフルードを注入して、クラッチレバーを操作し、クラッチシステム内にブレーキフルードを満たします。
この操作をリザーバ内のプライマリポートから気泡が出なくなるまで (クラッチレバーに重みを感じるまで) 行います。
※化学変化を防止するため、異なった銘柄のフルードを混入させない事。
※ブレーキフルードは、塗装面を損傷させるので部品類に付着させない事。
付着した場合は水洗いを行って下さい。



2. ブリーダervalブにビニールチューブを取り付け、クラッチレバー先端がハンドルグリップに当たるまで握り、ブリーダervalブを約 1/2 回転緩め、再び締め、クラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。ビニールチューブから気泡が出なくなるまでこの操作を繰り返します。



3. エア抜きが終了したら、ブレーキフルードをリザーバの上限線まで補給し、ダイヤフラム、リザーバキャップを取り付けます。

4. エンジン停止状態でトランスミッションを 1 速にシフトし、クラッチレバーを握った状態で車両を動かした際、リアホイールが回転し、クラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しない事を確認して下さい。